

防災に関する調査結果

市政モニターの皆さまを対象に2017年1月に「防災」についてご意見をおうかがいしました。ご回答していただいたモニターの皆さまには、厚くお礼申し上げます。

■有効回収率：85.3%

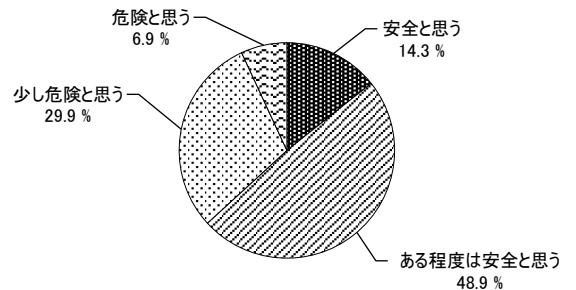
■有効回答者の構成割合について

男性：42.2%、女性：57.8%

20歳代：6.4%、30歳代：13.3%、40歳代：22.5%、50歳代：17.8%、60歳代：20.7%、70歳以上：19.3%

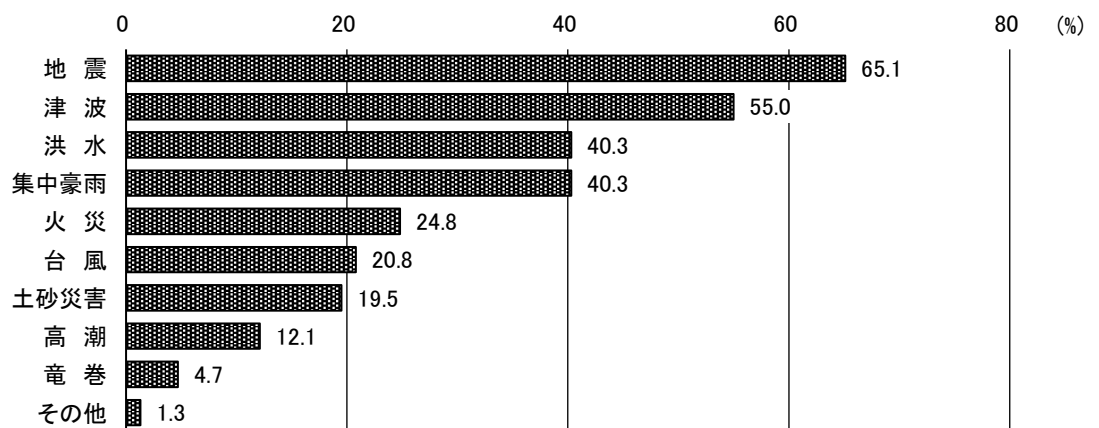
問 お住まいの地域は、災害に対して安全と思いますか。

住んでいる地域は災害に対して安全だと思うかについて、「ある程度は安全と思う」という人が約49%と最も多く、次いで「少し危険と思う」という人が約30%という結果となっています。



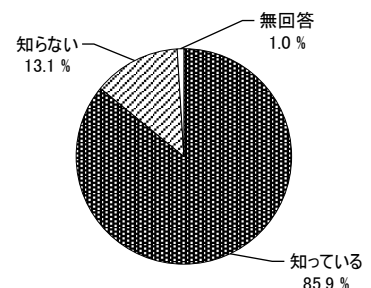
問 どのような災害に対して、危険を感じますか。

住んでいる地域は災害に対して（少し）危険と感じている人では、「地震」に対して危険を感じている人が約65%と最も多く、次いで「津波」「洪水」「集中豪雨」などとなっています。



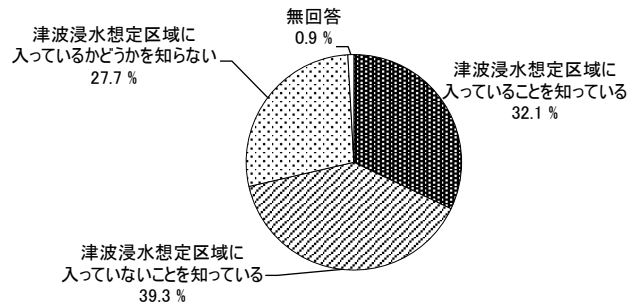
問 ご自宅の近くの避難所を知っていますか。

自宅近くの避難所について、「知っている」という人が約86%を占めています。一方、「知らない」という人は、約13%となっています。



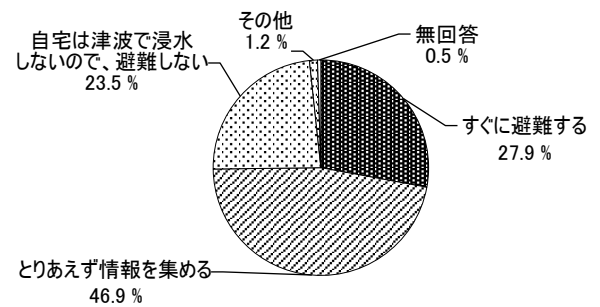
問 ご自宅が南海トラフ地震による津波浸水想定区域に入っているかどうか知っていますか。

「津波浸水想定区域に入っていることを知っている」、「津波浸水想定区域に入っていないことを知っている」と回答した人を合わせて、約71%の人が、自宅が津波浸水想定区域に入っているかどうかを知っているという結果となりました。



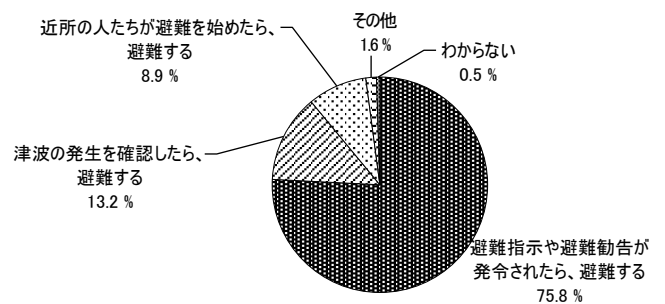
問 自宅にいる時に大津波警報、津波警報の発表があった場合、どのような行動を取りますか。

大津波警報や津波警報が発表されたらどのような行動をとるかについて、「とりあえず情報を集める」という人が約47%と最も多くなっています。



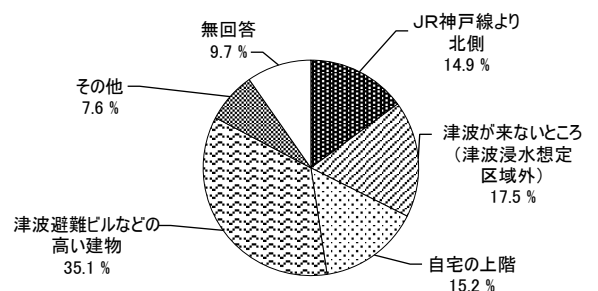
問 どのような情報を入手したら、避難すると思いますか。

どのような情報で避難するかについて、大津波警報や津波警報発表時にとりあえず情報を集めるとした人のうち、約76%の人が「避難指示や避難勧告が発令されたら、避難する」と回答しています。



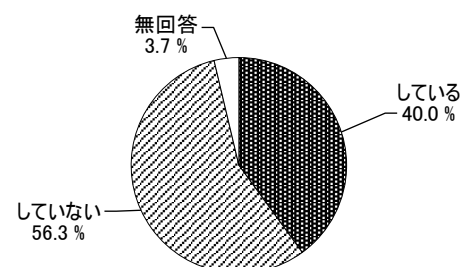
問 避難する場合、どこを目指して避難しますか。

どこを目指して避難するかについて、大津波警報や津波警報発表時に避難する人のうち、約35%が「津波避難ビルなどの高い建物」に避難すると回答しています。



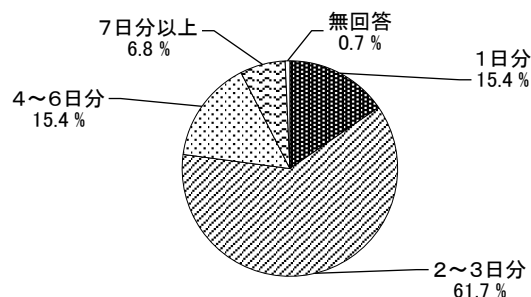
問 災害に備えて、食料の備蓄をしていますか。

食料の備蓄について、「していない」という人が約56%を占め、一方、「している」という人は40%となっています。



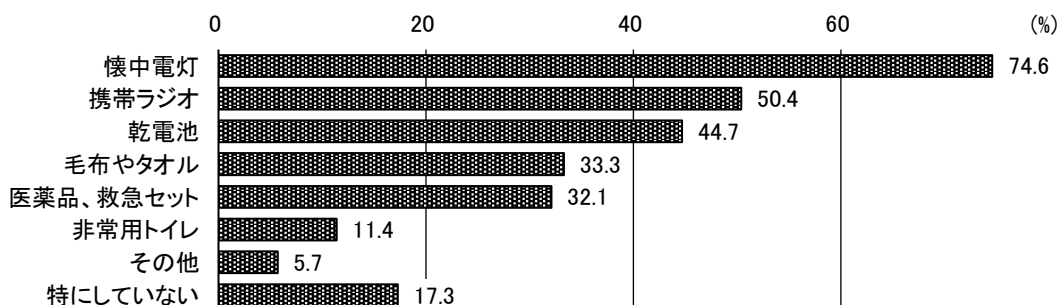
問 何日分の食料を備蓄していますか。

食料を備蓄している人が何日分を備蓄しているのかについては、「2～3日分」が約62%を占める結果となっています。



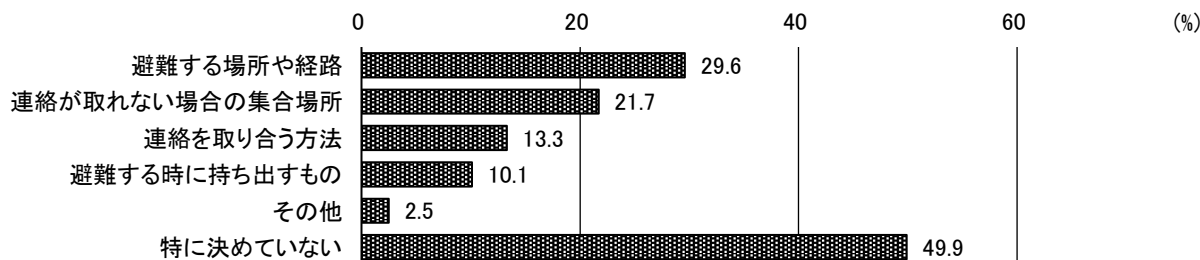
問 災害に備えて、食料以外の備蓄をしていますか。

食料以外で備蓄しているものについては、「懐中電灯」が約75%と最も多く、次いで「携帯ラジオ」「乾電池」という回答が多くなっています。



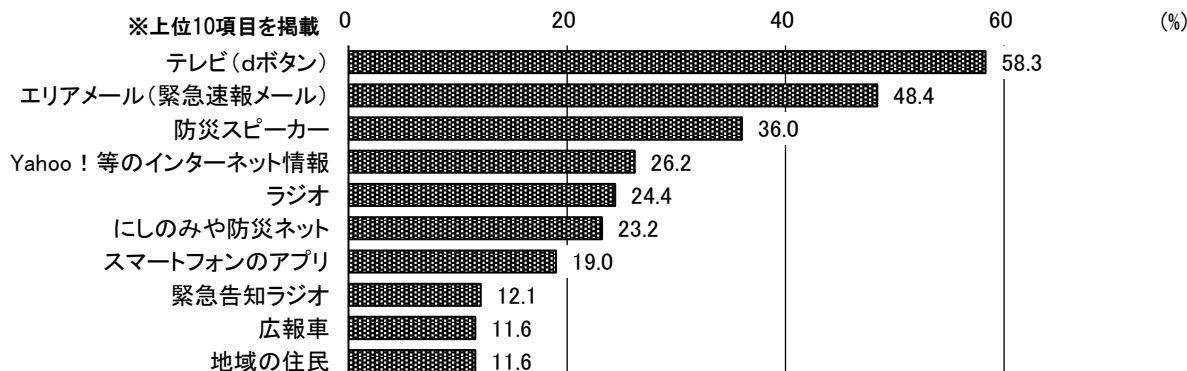
問 災害に備えて、家族や身近な人と話し合いをして、決めていることがありますか。

災害に備えて家族などで決めていることとしては、「避難する場所や経路」を決めている人が約30%、「連絡が取れない場合の集合場所」を決めている人が約22%となっています。一方、約50%の人が「特に決めていない」と回答しています。



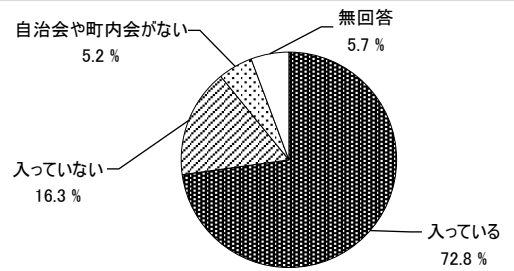
問 あなたは災害に関する情報を、どのような方法で取得していますか。

災害に関する情報源について、「テレビ (dボタン)」と回答した人が約58%と最も多く、次いで、「エリアメール (緊急速報メール)」「防災スピーカー」という回答が多くなっています。



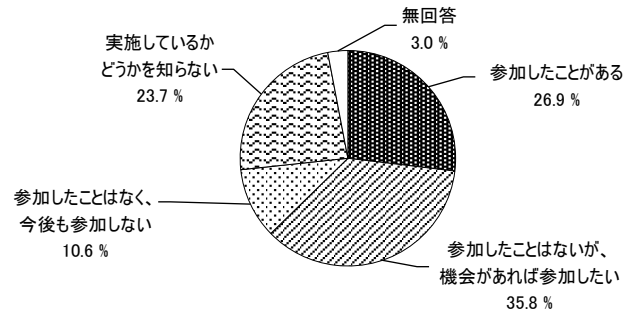
問 地域の自治会や町内会に入っていますか。

自治会や町内会について、「入っている」と回答した人が約73%を占める結果となっています。



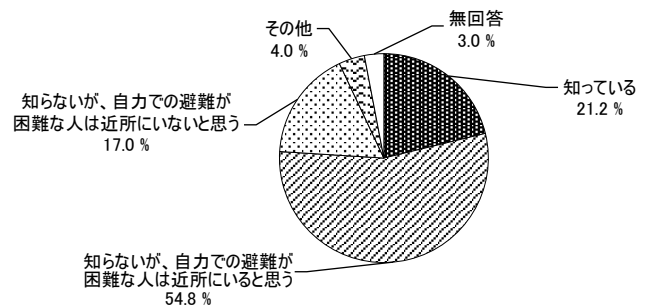
問 地域等が主催する防災訓練に参加したことがありますか。

地域等の防災訓練に参加したことがあるかについて、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答した人が約36%、「参加したことがある」と回答した人が約27%となっており、合わせて約63%の人が、防災訓練に参加する意思があることがわかります。



問 ご近所に住んでいる、自力での避難が困難な高齢者や障害のある方等を知っていますか。

近所の災害時要援護者については、「知らないが、自力での避難が困難な人は近所にいると思う」と回答した人が約55%と最も多くなっています。



問 あなたは、避難時に支援を必要とする方の安否確認や避難誘導を行う役割を依頼された場合、どうしますか。最も近いものを選んでください。

災害時の避難の支援を依頼された場合、「できる範囲で引き受けたい」と回答した人が約53%と最も多くなっています。

